

意見交換会報告書

国立市議会意見交換会(総務文教委員会)

テーマ	コロナ禍の学校について
開催日時	2021(令和3)年10月18日(月) 午後4時30分から午後6時
開催場所	国立市役所 委員会室、議員1名がオンライン参加
出席議員	総務文教委員7名、広聴委員2名
相手先	市立中学校生徒3名

国立市議会意見交換会(建設環境委員会)

テーマ	市内商工分野におけるコロナ禍の教訓、そして新たな未来に向けて
開催日時	2021(令和3)年10月15日(金) 午後3時から午後5時
開催場所	国立市商工会館 会議室
出席議員	建設環境委員7名、広聴委員4名
相手先	国立市商工会6名

国立市議会意見交換会(福祉保険委員会)

テーマ	コロナ禍での高齢者福祉について
開催日時	2021(令和3)年11月9日(火) 午後1時30分から午後2時40分
開催場所	国立市役所 委員会室、相手先はくにたち苑からオンライン参加
出席議員	福祉保健委員7名、広聴委員2名
相手先	社会福祉法人 弥生会 特別養護老人ホームくにたち苑4名
開催日時	2021(令和3)年11月9日(火) 午後2時50分から午後4時
開催場所	国立市役所 委員会室
出席議員	福祉保健委員7名、広聴委員2名
相手先	フレイルサポーター7名

報告内容	<p>【意見交換会開催の経過】</p> <ul style="list-style-type: none">・5月の委員改選後、新型コロナウイルス感染下の広聴活動のあり方について検討した結果、オンライン開催を含む、少人数の団体・グループとの市民意見交換会を開催することとした。・従来、参加してきた農業まつり(11月)の開催中止が決定(8月)したため、意見交換会の開催を1~2月から、10~11月に前倒しした。・オンライン開催にあたっては、国立市が使用しているビデオ会議システム(Webex)を活用することとし、事前に試行を重ねた。・会派代表者会議で「政策形成サイクルイントロダクション」が確認(2月)されたことに基づき、議会としての政策形成につなげていくことも念頭において、常任委員会ごとにテーマ、相手先、実施方法(オンラインか対面か)を選定(9月)し、日程が重ならないように調整して開催した。 <p>【意見交換会の概要】</p> <ul style="list-style-type: none">・建設環境委員会は、商工会館に出張(アウトリーチ)して意見交換を行った。・総務文教委員会は、市民に市役所に来庁してもらい、議員1名は出先から市役所に登庁する途中でオンラインで参加(会議の最後に来庁)して意見交換を行った。オンライン参加する議員の機材(パソコン・通信)は議員の私物を活用した。・福祉保険委員会は2部制とし、前半は市民が事業所からオンラインで、後半は別の市民に市役所に来庁してもらい、意見交換を行った。公共施設外からのオンライン参加となるため、事業所での機材(パソコン・通信)は議員の私物を活用した。・青木議長による開会の挨拶の後、市民から説明と意見を出していただいた上で、常任委員長の進行の下で、意見交換を行った。・対象者が限定されるため、事前の広報や参加者募集は行わなかった。・相手先のプライバシー等に配慮して、総務文教委員会は録音・録画は行わなかった。
	裏面あり

<p>【意見交換会の集約】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインであれ対面であれ、コロナ禍で議会として市民と直接、意見交換できて良かった。
<ul style="list-style-type: none"> ・市民団体・グループと議会がじっくりと意見交換を行う機会はこれまであまりなかったため、各回とも大変、新鮮だった。
<ul style="list-style-type: none"> ・市民グループを特定して秋に意見交換を行うことを決定してから実際の開催まで1ヶ月弱しかなく、日程決定や相手先との調整は困難だった。
<ul style="list-style-type: none"> ・開催日程については、各回が重ならないよう調整することや、議会や相手先とのスケジュールに加え、議会事務局の事務スケジュールも考慮しなくてはならず、定例会翌月、決算委員会直後（例年は行政視察の時期）からの随時開催は、事務局の負担も大きかったと思われる。
<ul style="list-style-type: none"> ・議会の会議や事業におけるオンライン活用は初めての経験であり、課題もあったが、滞りなく意見交換を行うことができ、他の会議でも活用できる目処がたった。
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設外でオンライン参加するためには、国立市所有の機材や通信（Wifi）が使えず、議員の私物を使わざるを得なかった。
<ul style="list-style-type: none"> ・市民からは、国立市が使用しているビデオ会議システム（Webex）よりも、普段使っているビデオ会議システム（ZOOM等）の方が慣れている、との意見があった。
<ul style="list-style-type: none"> ・議員がオンライン参加した意見交換会では、会場の音がオンライン先でよく聞き取れなかったとの意見があった。
<ul style="list-style-type: none"> ・広聴委員（4名）、事務局職員とも少人数のため、オンライン開催で複数箇所に機材等を扱う担当者を派遣することには、困難が伴う。

国立市議会議長 様

令和4年1月24日

報告者 広聴委員長 重松 朋宏